

新文化会館を考える



第1回

市民ワークショップ

— テーマ —

新文化会館の諸室(機能・仕様)や規模を考える！

2019/5/11

株式会社シアターワークショップ

本日のプログラム

本日のプログラム

1. ごあいさつ（5分）
 2. 基本構想について（10分）
 3. 自己紹介（20分）
 4. ワークショップ
 - ①新文化会館に必要な諸室（部屋）を機能ごとに整理する
 - ②整理した諸室（部屋）の仕様・設備を考える
 - ③整理した諸室（部屋）の規模や部屋数を考える
- 事例紹介（15分）－グループワーク（50分）－発表（15分）
5. 次回のワークショップについて・なんでもアンケート（5分）

ワークショップの 目的

ワークショップ開催の経緯と目的


市民会館とひぼこホールはそれぞれ老朽化し、
安全性や快適性の確保が必要な状態です。



そこで豊岡市は、両館のホール機能を統合する形で、
新文化会館の整備を検討しており、昨年度基本構想を策定しました。



本年度は、求められる施設機能と規模・敷地・整備手法・管理運営等、
幅広い視点・様々な角度から検討、検証することとなっています。



今回のワークショップでは、新たな文化会館について
豊岡市で暮らすみなさんと一緒に、考えたり、語ったりして、
たくさんのご意見をいただきたいと思っています。

基本構想について

基本構想

別紙の基本構想概要版をご覧ください

豊岡市新文化会館整備基本構想 概要版

はじめに・構想策定の背景

豊岡市民会館(以下「市民会館」という。)と旧出石文化会館(以下「ひぼこホール」という。)は、開館以来、豊岡市における文化活動の拠点として利用されてきました。しかし、それぞれ開館より47年、24年が経過し、施設そのものや設備の老朽化が進み、安全性や快適性の確保が必要な状況となっています。そこで、両館のホール機能を統合する形で、新たな文化会館を整備することとしました。

構想策定にあたっては、市民アンケート調査や関連団体ヒアリング、市民ワークショップ等を通して幅広く意見をいただきました。こうした幅広い意見を参考とさせていただくと共に、市内外の公共施設の状況、全国の先進事例や最近の文化芸術の動向などを踏まえ、新文化会館整備に向けた基本構想を策定しました。

第1章 豊岡市新文化会館をとりまく状況

1 文化振興の背景と動向

(1) 国・県の文化政策の動向

ア 文化芸術による心豊かな国民生活、活力ある地域社会の実現を目指して関連法を整備

(ア)平成13年:文化芸術振興基本法

(イ)平成24年:劇場、音楽堂等の活性化に関する法律

(ウ)平成30年:障害者による文化芸術活動の推進に関する法律

(エ)平成30年:国際文化交流の祭典の実施の推進に関する法律

イ 阪神・淡路大震災を機に文化芸術の重要性・必要性を再認識
平成16年:芸術文化振興ビジョン(平成27年改定)

(2) 文化芸術に関する社会的潮流

ア 文化芸術鑑賞市場は拡大傾向

イ 鑑賞に比べて文化活動への参加は低調

ウ 子どもの教育における芸術文化の様々な効果が認められる

2 豊岡市立文化会館の現状

	市民会館	ひぼこホール
建設	昭和46(1971)年	平成6(1994)年
施設機能	文化ホール(1,118席) 楽屋(3室)/リハーサル室 多目的室/会議室(4室) 和室(2室)/青少年婦人室 ギャラリー1・2 / 講座室	大ホール(490席) 小ホール / ギャラリー 楽屋(3室) 多目的ホール 多目的室
利用状況(平成29年度)	<文化ホール> 利用日数:117日 稼働率:38% 利用者数:36,579人 86,001人(全施設) (ア)本番利用が半数弱 (イ)行政などを除く本番の利用人数は平均760人 (ウ)音楽や演劇、ダンス等の実演芸術が全体の4割	<大ホール> 利用日数:74日 稼働率:24% 利用者数:8,606人 16,725人(全施設) 生涯学習活動を主とした市民の日常的な活動の場として利用されている。
課題	(ア)建物の経年劣化と舞台特殊設備の劣化-陳腐化 (イ)ホールとしての基本性能不足、使いづらさ (ウ)現行法令に適合していない (エ)ホールの稼働率が低い →使用料収入が少ない (オ)利用人数が少ない	(ア)建物の経年劣化-屋根根柢下の危険性 (イ)漏水の確率、水没の危険性 (ウ)一般設備・舞台特殊設備の劣化 (エ)リニアフリー化未対応 (オ)大ホール利用者数の減少 (カ)稼働率が低い

(3) 市の上位関連計画

ア 基本構想:市政経営方針

『小さな世界都市-Local&Global City-』

(ア)地域の歴史、伝統、文化を守り、新しい工夫を加え、引き継ぐ

(イ)人々から楽しめるよう、優れた文化芸術の創造を目指す

イ 文化芸術振興計画

文化芸術による「小さな世界都市」の実現

(ア)豊岡で優れた文化芸術を創造し、その魅力を発信することで、世界の人々から尊敬され、尊重されるまちを目指す

(イ)その取組みを地方創生の核となる若い世代を中心に伝えていくことで、人口減少対策とする

ウ 豊岡市公共施設再編計画

(ア)市民会館は機能を含めて維持

(イ)ひぼこホールは使用不能と判断した段階で廃止を検討する

3 豊岡市の文化環境

豊岡市内の文化施設と利用状況、文化活動・関連事業等

ア 豊岡地域に主要な都市機能や文化施設が集中する一方、各地域に合併前からの文化施設が整備されている

(ア)市内は、平土間(一部可動席を持つホールがある)形式の施設が大半で、市民会館の1,118席と同規模の施設はない

(イ)豊岡地域には、市民会館や豊岡市民プラザが立地され、市域から広く利用されている

(ウ)小中学校教育における演劇の導入や全市民的なアートイベントの展開等、多様な試みがなされている

(エ)全市民的な取り組みの一方、市民の文化活動は各地域内で活発に展開されている

イ 市内29のコミュニティセンターも市民の身近な活動拠点



4 市民意見・関係団体意見の集約

市民ワークショップ

第一回 2018年12月9日 参加者18名
テーマ「豊岡のまちじまん・文化じまん」
第二回 2018年12月20日 参加者18名
テーマ「年間スケジュールを考えよう」
第三回 2019年1月26日 参加者17名
テーマ「必要な機能や施設を考えよう」

市民アンケート

実施時期 2018年11月29日
対象 豊岡市民3,000人
回収数 992
(回収率33.1%)

関係団体等ヒアリング

実施時期 2018年11月9日、10日 計4回
実施場所 豊岡稲古堂交流室、市役所庁舎
参加団体 地域・教育福祉関係団体、文化団体、楽器店、商工観光団体・事業者、劇場施設管理運営団体など、計22団体

主な意見・要望

(1) 大ホール

ア 高質で様々なジャンルの音楽/舞台芸術鑑賞
イ 音が良い、見やすく使いやすい舞台
ウ 舞台から展示まで多用途
エ 人数に合わせて使える(大きすぎは使いにくい)

(2) 中・小ホール

ア 催しから発表まで自由に使える
イ 平土間の可動式 多目的ホール

(3) 稽室

ア 舞台と同サイズのリハーサル室
イ 防音練習室、録音室
ウ 大中小規模の楽屋
エ 展示室、ギャラリー、工房
オ フリースペース、図書・情報・飲食スペース
カ 市民活動スペース

(4) 新施設に期待すること

ア 子どもから高齢者・障害者まで誰でも気軽に使える施設とすること
イ いつでも賑わい、誰もが気軽に使える施設
ウ 但馬・豊岡の核となる施設とすること
エ 地域間・世代間がつながり、交流が生まれるきっかけになる施設とすること
オ カフェや図書施設するなど、誰でも気軽に入りやすい施設
カ プロによる公演の実施
キ 親子、多世代で楽しめる事業の展開や公演の野実施
ク キッズスペース、託児施設
ケ 活動しやすい利用料金
コ 市内の既存施設との棲み分け、施設間の連携、ネットワーク活用

(5) その他

ア バリアフリー対応
イ 十分な駐車場、6地域にとって交通網の良い立地、まちなか防災避難機能
エ 遠方利用者への配慮
オ 若者を呼び込む仕組みがほしい



▲市民ワークショップの様子

5 文化会館の再整備にあたっての留意事項

(1) 文化会館をはじめとする市内文化施設の役割

市民会館は、市内最大のホールとして広く市民に認識され利用されており、新たな施設においても同様の位置付け、役割が求められている。ひぼこホールのホール機能は新文化会館に統合されることとなるが、合併以前に各地域で整備された既存文化施設も老朽化が進みつつあり、これらの施設の役割や機能分担等のあり方などについても、整理が必要。

(2) 新しい文化会館について

現市民会館の課題解消とともに文化芸術環境を改善強化し、「文化芸術による『小さな世界都市』の実現」に資する施設とすること

ア 文化芸術によるまちづくりに取り組み、先進的な文化芸術事業を展開している豊岡市の文化芸術拠点として相応しい姿
イ 公演鑑賞や様々な文化活動を行う文化芸術活動の機会の提供
ウ 子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる日常的な居場所の提供
エ 地域や世代を超えた多様な交流機会の創出、市民の一体感の醸成やまちづくり・地域の活性化などにつながる施設
オ 地域や世代・ライフスタイルの違いにより異なるニーズに対応すること
カ ホールの規模や運営方法についての意見は多様
キ 人口減少や少子高齢化が進展する中で適切な規模や形式、市内外の施設等との役割分担を踏まえること

6 市内文化施設の再整理と新文化会館の方向性

市内文化会館の再整理	新文化会館の方向性(キーワード)
市民会館	豊岡市の芸術鑑賞・文化芸術活動拠点。市の文化の殿堂
ひぼこホール(平成30年12月末をもって廃止)	市民会館と機能統合、新文化会館として整備
城崎国際アートセンター	滞在型舞台芸術創造発信拠点(世界のアーティスト・舞台芸術に触れる)
豊岡市民プラザ	市民活動支援・子育て支援・地域文化活動創造育成拠点
出石永楽館	県指定文化財の近畿屋敷の芝居小屋(文化財として保存・活用)
出石市民ホール	出石地域を中心とした文化団体の日常活動拠点(練習主体)
日高文化体育館	日高地域を中心とした市民の文化スポーツ活動拠点(体育館メイン)
但東市民センター	但東地域を中心とした文化団体の日常活動拠点(集会場等)
	賑わい 文化芸術 交流 創造 拠点 繋ぐ 豊岡市の文化施設の核となる 多機能化で重ね使いできる“新たな施設”の整備 賞賛だけでなく積極的な公演イベント 市民参加の管理運営

基本構想

別紙の基本構想概要版をご覧ください

第2章 豊岡市新文化会館の基本的な考え方

1 豊岡市新文化会館の基本理念

(1) 基本理念

豊岡市は、文化芸術によるまちづくりで「小さな世界都市 -Local & Global City-」を目指します。

新たな文化会館は、市民やアーティスト等の安定的で継続的な文化芸術創造活動を支える豊岡市の中核施設として、優れた文化芸術の振興普及や創造はもとより、文化芸術を通じて人々に安らぎや活力を与え、創造力や表現力を引き出し、市民生活を豊かにする様々な機会と場を提供します。また、地域や世代を超えた交流活動を生み出し、豊岡市の魅力を内外に発信しながら、賑わいのあるまちづくりに繋げていきます。



(2) 基本的な役割

ア 市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供する

(ア)子どもから大人まで身近に優れた文化芸術に親しみ楽しむ機会を提供し、市民が豊かさを実感できる場とする。

(イ)誰もが安全快適に鑑賞できる環境を整えるとともに、多彩で良質な公演ができるような舞台環境づくりを行う。

(ウ)来館者に対してだけでなく、文化芸術を地域に直接届けるなど、さまざまな方法で多くの市民が文化芸術に触れることのできる機会づくりを目指す。

イ 多様なレベルの文化芸術活動・創造拠点となる

(ア)はじめての人から更なる高みを目指して本格的に取り組む活動、さらにはプロとしてのステップアップを図る若手アーティストの活動まで、幅広く支援する。

(イ)日常的な練習・創作活動の場であると同時に、それらの成果を発表・披露する「ハレ」の場とすることで、文化芸術の創造と発展を支援する。

(ウ)作品づくりや施設運営・事業等に市民が主体的に参加・参画する機会を提供するなど、市民の文化芸術活動の底上げを図る。

(エ)城崎国際アートセンターや専門職大学等で生まれた作品を国内外に発信する前に最初に発表する場とすることや芸術監督の登用なども検討する。

ウ 地域文化を次世代に引き継ぐ

(ア)文化の中核施設として、市域を構成する各地域に古くから受け継がれてきた伝統芸能など、豊かな自然や歴史とともに地域に根ざす各地域固有の文化を再発見し、市域全体に拡げることで、次世代に引き継ぐ。

(イ)さらには、新たな価値を付加することで、市域全体の文化の持続的な発展を目指す。

エ 交流を生み出す、市民の居場所となる

(ア)だれでも気軽に立ち寄り、文化芸術に触れながら快適に過ごすことができる環境づくりに取り組む。

(イ)世代や地域、文化芸術ジャンル等を超えて、新たな発見や出会いが生まれる場とする。

オ 文化芸術による「小さな世界都市づくり」を発信する

(ア)市民のサークルからプロのアーティストまで、様々な文化団体や活動の紹介、各種イベント・企画の広報など、幅広い文化芸術の情報を発信する。

(イ)様々な機会や交流を通じてにぎわいを創出し、豊岡ならではの魅力を発信し続けることで、内外から人を呼び込み、まさに活気をもち、市民の誇りが醸成されるサイクルづくりを目指す。

カ 他の文化芸術施設と有機的に連携し、文化芸術の力を最大化する

(ア)豊岡市においては、出石永楽館、城崎国際アートセンター、豊岡市民プラザ、専門職大学などの文化芸術関連施設の設置や学校教育における演劇の活用など、全国に先駆けた先進的な取り組みが行われている。

(イ)新しい文化会館は、市民会館とびほこホールの統合再整備を図るものであり、オール豊岡の文化芸術交流拠点である。

(ウ)これからの先端的施設や活動、教育福祉をはじめ観光やまちづくりなどの関連分野との協力を図りながら、豊岡市の総合的な文化芸術環境の充実・強化に貢献する。

第3章 豊岡市新文化会館に必要な機能と考え方

1 豊岡市新文化会館の施設の概要

(1) 施設機能及び構成

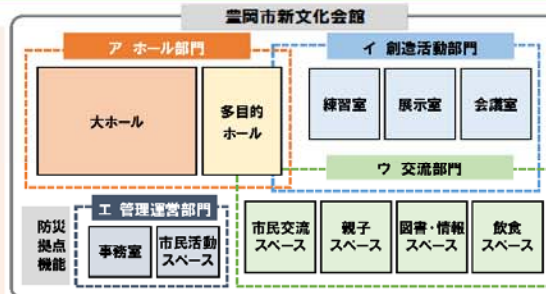
ア ホール部門

(ア) 大ホール

- a 音楽利用性能を向上させる技術を取り入れた多機能ホールとし、音楽をベースに様々な舞台芸術に対応
- b 収容人数は600人～1000人程度
- c 客席を複層化し、利用人数が少ない時は1階のみで利用できるようなシステムを検討、また、移動観覧席も検討
- d 座席自体もゆとりのある客席とするとともに、障害者や高齢者にも配慮
- e 十分な舞台の大きさや楽屋数、搬入のしやすさなど、バックヤードを充実

(イ) 多目的ホール

- a 公演のリハーサルや市民の日常的な練習、小規模な発表会や展示会等、多用途に対応する平土間形式
- b 収容人数は200～300人程度、大ホールの舞台と同程度の規模
- c 大ホール同様、バックヤードを充実
- d 大ホール附帯の楽屋や、その他の諸室を楽屋として転用できるよう、動線や諸室配置に配慮



イ 創造活動部門

日常的な活動・練習・発表の場として楽器演奏やダンス等にも対応した、防音・遮音性能を備えた練習室、会議室等の設置を検討

エ 管理運営部門

管理事務室の他、市民活動団体の荷物置き場や活動拠点となるような市民活動スペースの設置を検討

ウ 交流部門

市民の憩いの場となるような市民交流スペース、子どもが遊べる場所や子育てに関する情報コーナーを設けた親子ひろば、文化関連図書や県内外の文化情報を集めた図書スペースの他、カフェ・レストラン等の設置を検討

(2) 施設規模

施設全体の規模は、概ね6,000～7,200㎡程度と想定。諸室や空間はさまざまな機能に対して柔軟な対応ができる「多機能」な設備とし、「重ね使い」することで、規模やランニングコストを抑えたコンパクトな計画を目指す。

(3) 駐車場

法で定められた附属義務駐車台数にとどまらず、敷地の立地や広さにあわせて最大限の駐車台数の確保を目指す。立体駐車場の整備や敷地周辺における公共施設駐車場の供用、時間貸し駐車場の活用等についても検討。

(4) 施設配置

建物内においては、観客、出演者、主催者、搬出入等の動線を考慮。敷地周辺に対しては、ホール建物による日影、搬入大型車両やバス、来場者の自家用車や人の集中による騒音や振動等の影響を複次抑えるような配置を検討。

(5) 施設整備における配慮事項

- ア 安全性 地震や水害等の自然災害に対する強度、避難所機能
- イ 利便性、快適性 ユニバーサルデザイン、バリアフリー
- ウ 経済性、効率性 建設費のみでなく、維持管理費の抑制
- エ 環境共生 ゼロエネルギー、自然エネルギーの活用
- オ デザイン 地域性、施設コンセプトとの整合 など

2 豊岡市新文化会館の建設地

現時点においては、建設地は決まっていないが、市の財政状況および整備スケジュール等を勘案して、現有市有財産を活用する方針。選定の際は、交通アクセス条件や周辺環境等、様々な観点から検討。

第4章 豊岡市新文化会館の管理運営の考え方

新文化会館は、関心のある人だけが訪れる施設ではなく、老若男女、障がいの有無に関わらず、あらゆる人が日常的に集い、文化芸術を通じた交流を生み出し、市民の暮らしをより豊かにしていくことが求められる。

そのためには、単に施設を貸し出すだけでなく、公演等の様々な事業企画の提供、市民の文化活動や障害のある方の就労などを推進していくよう、継続的に働きかけていくことが必要。

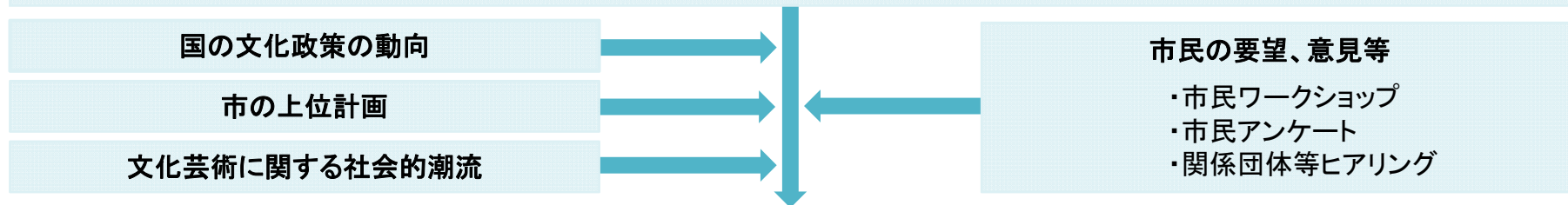
さらに、市内の公共施設はもちろん、専門職大学、市外の文化施設等も広域的な連携協力を積極的に図ることで求心力を高め、市民はもとより周辺自治体住民に対する積極的な広報活動を行うことも必要。

上記の内容の詳細については、「管理運営計画」として、施設整備の基本構想、基本計画の考え方を踏まえながら、広く市民の意見を聞き、詳細をまとめて行くこととなる。

市内文化施設の再整理と新文化会館の方向性

豊岡市の現状、文化芸術施設・活動状況

- 豊岡市は個性豊かな6地域により構成される(2005年市町合併)
- 豊岡地域に主要な都市機能や文化施設が集中する一方、各地区に合併前からの文化施設が残り利用されている
 - ・豊岡地域に市民会館や市民プラザ等の文化施設が立地し、市全域から広く利用されている
 - ・出石永楽館、城崎国際アートセンターは市域を超えた知名度や海外と直接の繋がりを有する
 - ・小中学校教育における演劇の導入や全市的なアートイベントの展開等、多様な試みがなされている
 - ・全市的な取り組みの一方、市民の文化活動は従来の行政区域内にとどまることも多い



市内文化施設の再整理

市民会館	豊岡市の芸術鑑賞・文化芸術活動拠点。市の文化の殿堂
ひぼこホール	市民会館と統合、新文化会館として整備
城崎国際アートセンター	滞在型舞台芸術創造発信拠点(世界のアーティスト・舞台芸術に触れる)
豊岡市民プラザ	市民活動支援・子育て支援・地域文化活動創造育成拠点
出石永楽館	県指定文化財の近畿最古の芝居小屋(文化財として保存・活用)
出石市民ホール	出石地域を中心とした文化団体等の日常活動拠点(練習主体)
日高文化体育館	日高地域を中心とした市民の文化スポーツ活動拠点(体育館メイン)
但東市民センター	但東地域を中心とした文化団体の日常活動拠点(集会場等)

新文化会館の方向性(キーワード)

賑わい 文化芸術 交流 創造 拠点 繋ぐ

豊岡市の文化施設の核となる 多機能化で重ね使いできる“新たな施設”の整備
貸館だけでない積極的な公演イベント 市民参加の管理運営

豊岡市新文化会館の基本理念

基本理念と5つのキーワード

人・地域・世代 を繋ぐ 文化芸術交流拠点

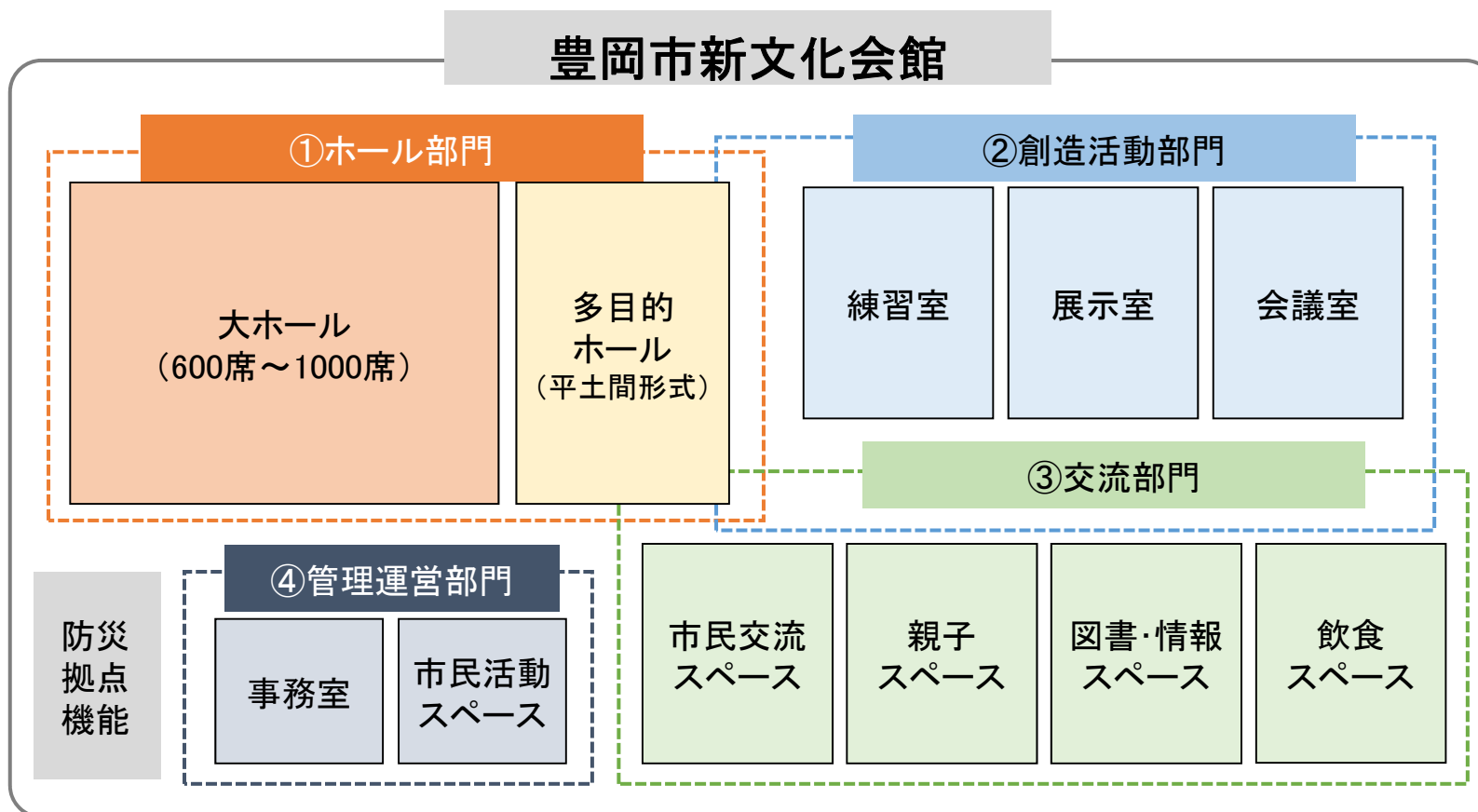


基本的な役割

- ① 市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供する
- ② 多様なレベルの文化芸術活動・創造拠点となる
- ③ 地域文化を次世代に引き継ぐ
- ④ 交流を生み出す、市民の居場所となる
- ⑤ 文化芸術による「小さな世界都市づくり」を発信する
- ⑥ 他の文化芸術施設と有機的に連携し、文化芸術の力を最大化する

施設機能及び構成

- 新文化会館の基本的な役割を果たすために必要な機能を集約・整理すると、以下ようになります。(詳細は基本構想概要版裏面)



自己紹介

わたしたち「 Theatre Workshop 」の自己紹介

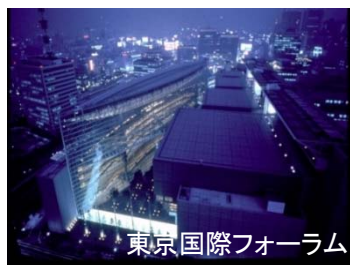
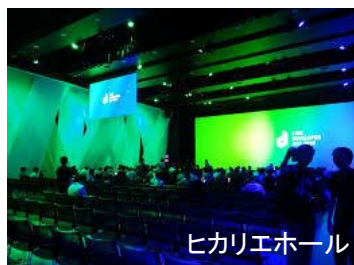
「劇場・ホール」一筋35年！ 「劇場・ホール」に関わるすべてのことを！

- 創業34年(1983年～)
- 全国で200以上の「劇場・ホール」づくりに携わる
- 最近では実際に施設運営も
 - ーハード : 構想・計画づくり、設計・施工のコンサルティング など
 - ーソフト : 管理運営計画づくり、開館準備支援、イベント・事業の企画制作運営 など
 - ー施設運営: 公共施設・民間施設(指定管理・運営受託・人材派遣)など

公共施設…市民に愛される施設づくり＝市民参加、市民参画の施設づくり

主な実績

東京国際フォーラム／文京シビックホール／歌舞伎座／杉並公会堂／オリンパスホール八王子／吉祥寺シアター／
渋谷ヒカリエ ヒカリエホール／丸の内ルーブル オルタナティブシアター／浅草九劇／浦安音楽ホール／
兵庫県立芸術文化センター／伊丹市立文化会館・いたみホール／三田市総合文化センター・郷の音ホール／
黒部市国際文化センター・コラーレ／いわき芸術交流館・アリオス／北上市文化交流センター・さくらホール／
茅野市民館／由利本荘市文化交流館カダーレ／大和市文化創造拠点シリウス 他全国の施設計画に従事



自己紹介

制限時間は30秒。
みなさんの〇〇を教えてください！！

◆名前

◆ワークショップに参加した理由

◆好きなこと、日ごろ取り組んでいること

本日の ワークショップ

本日のワークショップのテーマ

新文化会館の 諸室（機能・仕様）や規模を考える！！

（どんな活動をしたい？）

展示室や練習室は
どんな仕様？
何が必要？

（みんなが使いやすい・・・）

客席数は何席が
良いだろうか？

（にぎわいを生み出すために・・・）

共有スペースには
どんな機能？



新文化会館の諸室(機能・仕様)や規模を考える！

今日考えるのはこの2つ！！

1 基本構想の「基本理念や施設概要」を前提に、
また、昨年のWSで出た意見(P.O)を参考に
必要な諸室(部屋)/機能を整理しましょう。

- 👉 新文化会館の理念を実現するために必要な諸室を考えてみよう！
- 👉 P. Oを参考に「やってみたいこと」を実現するために必要な機能・諸室を考えよう！
- 👉 各部門ごとに必要な諸室や機能を取捨選択しよう！
- 👉 あれもこれも…とはいきません。重ね使いも考えてみよう！

2 1で出た諸室(部屋)は、どんな「仕様・設備」が良いですか？
その諸室の「規模(広さ)」や「部屋数」は？

昨年のワークショップのご意見より(第1回)

豊岡のまちじまん	豊岡の文化じまん	豊岡の街にあったらいいこと	豊岡の文化に思うこと
<p><産業>・小さいまちなのに空港がある ・昔からのカバン作り</p> <p><食物>・食べ物がおいしい ・海産物がおいしい ・ホンモロコ食べてみて!</p> <p><観光>・温泉がある、城崎等の風情 ・古くからの歴史が有る ・あめのひぼこ</p> <p><自然>・四季がはっきりしている ・街の中心を流れる円山川 ・竹野浜の景観 ・コウノトリを活かした生活 ・来日山(円山川)よりの雲海</p>	<p><活動>・多くの文化団体と、その活発な活動 ・さまざまな文化活動が継続している ・盛り上がる豊岡市展 ・老人が元気(文化活動ほか) ・町ごとの独自(特色)ある文化歴史 ・吹奏楽が(特に)盛ん</p> <p><有名人>・東京大学の初代(?)総長が豊岡出身 ・多くの文化人を輩出 ・片岡愛之助さんが来る</p>	<p><交通> ・市域が広すぎて交通不便 ・電車の本数が少ない <市内の施設について> ・身体に易しい施設を ・全天候施設不足 ・市民の拠所となる場所がない</p> <p><子ども・若者> ・若者が遊ぶ所が少ない ・若い人が少ない ・町に残る人が少ない ・こどもの数が少ない</p>	<p><一体感> ・各町ごとにややバラバラ感 ・豊岡全体の文化に対する一体感の欠如 ・団体の横の連携がない ・他者の取組に対してあまり寛容でない <文化機会が少ない> ・文化情報の希薄 ・芸術に触れる機会が少ない ・子どもたちに良い音楽や美術鑑賞が少ない ・良い物に接する機会が少ない</p>
<p><資源>・日本一のカバンのまち ・地域に点在する伝統ある芸能 ・伝統建築と現代建築の調和 ・城崎温泉街並</p> <p><自然>・豊富新鮮な食材 ・こうのとりが飛ぶ地域 ・地域の鹿に出会えること ・澄んだ空気と水、大自然が美しい ・海あり、山あり、清らかな水あり ・山陰海岸(ジオパーク) ・スキーが出来る</p> <p><人>・人が優しい、人情がある ・高温多湿で美人が多いのでは</p>	<p><活動>・阪神の友達から但馬の人は芸能に大変熱心だと言われた ・文化に対する熱意ある人が多い、文化人を多く生み出している ・人口の割に合唱グループが多い ・芸術文化を楽しんでいる人が多い</p> <p><歴史>・出石神社あめのひぼこの歴史 ・お菓子の神様、中嶋神社 ・東の斉藤、西の東井と言われるように教育文化に優れている</p> <p><団結力>・お祭り多い、お祭りによって市民の力をつないでいる</p>	<p><交通> ・交通がもう少し便利になると交流しやすい ・公共的なバス等をもっと走らせて欲しい</p> <p><施設面> ・市民の交流しやすい場が少ない ・若い人が住みたいと思えるような施設、設備が少ない</p> <p><その他> ・産業、就職先 ・周辺地域に対する配慮</p>	<p><施設> ・美術館 ・図書館が少ない <伝統文化> ・伝統文化が理解されにくい ・学校の行事によって、お稽古が出来なくなる子どもたちが多い ・文化会館の中、舞台、楽屋の充実を...</p> <p><その他>・夜が寂しいかな? ・優れた芸術家が地元で活躍しにくい ・ハードに対するメンテナンス ・若者(後継者)が少ない</p>
<p><自然>・海水浴が出来る ・夏あつく、冬寒い ・玄武洞</p> <p><観光>・マリナーワールド ・北前館 ・出石のまちなみ ・城崎温泉 ・志賀直哉 ・焼杉板の町なみ</p> <p><食文化>・カニ ・特産物を活かした飲食店が多い</p> <p><その他>・土木会社が多い</p>	<p><特産名産品> ・カバン・出石焼・出石そば・ちりめん ・麦わら細工・やなぎごおり・絹・養蚕</p> <p><サークル団体>・合唱団が多い ・様々な活動団体がある(吹奏楽団・室内合奏団・演劇部・バレエ・そろばん教室・舞踊の団体・ヒップホップ(ヒポッコ)等)</p> <p><拠点>・永楽館 ・K I A C</p> <p><著名人>・加藤弘道 ・植村直巳 ・仲田光成(書道) ・伊藤清永(出石) 等</p> <p><文化・史跡>・出石お城まつり ・沢庵寺・北前船・神社の祭り</p>	<p><人材> ・若者 ・病院の医師 ・企業 <公共> ・公共交通 ・大学 ・室内スケート場</p> <p><その他> ・ハードに対するソフト ・企業支援</p>	<p><交流> ・一市五町、お互いが知らない ・文化の継承者 ・どんな活動があるか市民が知らない ・バレエ・ヒップホップの団体、あるが少ない</p>

どこでやる?
ホール?
屋外?

そのためには
何が必要?

具体的には?

昨年のワークショップのご意見より(第2回)

春 (3月~5月)	夏 (6月~8月)	秋 (9~11月)	冬 (12月~2月)	通年
<ul style="list-style-type: none"> ・小・中向けの音楽会 (新年度) ・小・中・高生が気軽に参加できる音楽祭を ・市民合唱祭 ・豊岡高校定期演奏会 	<ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽練習関係と県予選あり ・吹奏楽コンクール ・大きなホールで歌うアカペラはサイコー ・オペラ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の音楽祭の開催 ・伝統芸能祭あり ・音楽と美術の展示も ・市民芸能祭 ・野外コンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ演奏会 ・音楽祭 ・ホールの舞台に客も上がって聴くコンサート (チェロとか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由にホールを使える時間 ・炎のページェント。会場中にろうそくを ・広場で自由にのんびりする ・子育てのお母さん達が集まり和む ・ふらつと寄って体感できる ・市民が立ち寄れる ・大きなアート広場(毎月) ・外、内つかい多数自由参加で(例えば、身体十二絵具をぬってゴロゴロ転がる) ・全天候型 ・茶室 ・調理室 ・忍者(観光にも) ・囲碁大会 ・運動できる ・フリークライミングできる壁 ・豊岡流行語大賞 ・借景を楽しむ窓
<ul style="list-style-type: none"> ・文化教室 ・通年通しで成果発表できるもの ・ダンス祭 ・キッズダンス ・歌舞伎 ・花見 ・書道パフォーマンス ・能楽 ・サーカス 	<ul style="list-style-type: none"> ・講談演けの一週間 ・絵パフォーマンス ・アーティストによるアート ・お茶会 ・盆踊り ・お祭りのイベント、屋台 (食文化) ・豊岡各地の盆踊り発表大会 ・8月は永年に渡り開催の行事あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・市展 ・みんなで大きな書 ・建物の壁を使った映画 ・美術団体展「私の主張」 ・かばんのアートのイベント ・演劇 ・みんなで大きな絵 ・おじいちゃん、おばあちゃんのファッションショー ・かばんのファッションショー 		<ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケット ・ハンドメイド市
<ul style="list-style-type: none"> ・3月定期演奏会 ・小ホールミニコンサート ・Springコンサート(様々なジャンル) ・シニアの為のコンサート ・菓子祭り4月 ・お菓子なコンサート ・子ども映画まつり(親子鑑賞会(上映)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月吹奏楽祭 ・7月吹奏楽コンクール ・プラス吹奏楽 ・おんぶの6月祭典 ・バンドフェスティバル ・七夕イベント ・若い人の為のコンサート ・高校生バンドバトル(ダンス) ・芸術鑑賞会(学生) ・日本舞踊発表会 ・子供のイベント(コンサート、劇等) ・子供・芸能発表会(ダンス、バレエ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽コンサート ・10月ぐらいいラスフェスタ ・朗読劇(読書の秋) ・市民芸能祭 ・おどり、詩吟、歌など ・ハロウィン祭り ・社会福祉フェスタ ・芸能発表会 ・フリーマーケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・第九コンサート ・オーケストラコンサート ・クリスマスコンサート ・カウントダウンコンサート ・年末12/31 ・新年演奏会 ・和・洋楽器 和洋折衷 	<ul style="list-style-type: none"> ・バレエ ・ポップス・ミュージカル ・ロックコンサート ・オペラ(オペレッタ) ・オーケストラ ・お母さんといっしょ(親子で参加) ・映画を上演する
<ul style="list-style-type: none"> ・生け花の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会 ・奏法講習会 ・夏休み工作教室 ・カバン見本市 ・各地盆踊り大会 ・豊岡温泉ツアー(市内温泉とグルメの旅2泊3日)<メイン会場>で使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国かな書展 ・美術展 ・手工芸展 ・地域文化を考えるシンポジウム ・秋のお茶会 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画展(美術展) ・絵画の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が集えるホール ・練習する場として開放 ・みんなおいでよ 福祉まつり(障害者と健常者の集いと交流) ・(ダンス)アーティストによるワークショップ講座など
<ul style="list-style-type: none"> ・1回/2カ月 ・1回/年 豊岡市民合唱 	<ul style="list-style-type: none"> ・おんぶの祭典 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民音楽祭 ・豊岡プラスフェスタ(市の吹奏楽団体が集合) ・吹奏楽祭10月 ・但馬合唱祭11/23 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民第九演奏会 ・ニューイヤーコンサート ・アンサンブルコンテスト ・クリスマスコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽イベント(リサイタル、定期演奏会発表会、合唱、ミュージカル等) ・訪問コンサート ・放課後、職場帰りに気楽に行けるミニコンサート
<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャースクール ・毎月1回音楽レクチャー ・ミュージカルのワークショップ ・レッスン・スクールの定期開催 ・通年の利用者アップ! (お花・お茶・ダンス楽器・合唱等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民演劇祭 ・豊岡市民ミュージカル(コラボ) ・バレエ・子供 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民芸能祭11/3 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模芸能 ・寄席、落語 ・能、狂言 など
<ul style="list-style-type: none"> ・ヨガ・ピラティス 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域民謡教室(おどり含む) ・お盆期間、帰省中の子連れさんが参加できるイベント ・0歳からのコンサート ・入園・入学前の通園グッズ制作イベント ・体操 ・健康体づくりイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外太鼓等コンサート(柳まつり) ・フリーマーケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・骨董市 ・お茶会 ・福祉祭 ・9月観月会 ・フリーマーケット 	<ul style="list-style-type: none"> ・留学等の市民センター ・楽譜(CD・DVD含む) ・図書館 ・AVルーム ・音楽CDかし出し ・レストラン

どこでやる?
ホール?
屋外?

そのためには
何が必要?

具体的には?

施設・その他

音楽

文化活動

伝統芸能

お祭り
フェスタ

ステージイベント・音楽会

音楽・プラスバンド

学びたい!

夏休み
活動

自然との
つながり

あったら
いいな...

昨年のワークショップのご意見より(第3回)

【キャッチコピー】 今も行こうよ!! コウノトリ文化ホール

<大ホール>

- ・現在のように 1000 ~ 1200 席
- ・舞台共有、大が小を含む (800、300)
- ・席間隔広め・楽屋、大部屋、スタジオ
- ・入り口に車椅子用スロープ
- ・音がよく響く通る・複合化施設



<小ホール>

- ・使いやすい発表の場
- ・車椅子席必要
- ・多目的で 300 ~ 500 席、200 ~ 300 席
- ・地元愛が育まれる施設
- ・記憶に残るコンサート
- ・周辺地域独自の催物へも対応

<諸室・機能>

- ・舞台照明機具の充実
- ・多目的 (音楽、美術、集会、芸能)
- ・良いピアノ
- ・活動室 (市民活動の諸室、安価で)
- ・会議室、展示場 (作品)、和室
- ・リハーサル室・展示スペース
- ・楽屋多数

<その他>

- ・アクセスがよく、自転車でも立ち寄れる
- ・メンテナンスがしやすく、未永く使える
- ・機能重視、バリアフリー
- ・防災に対応した施設
- ・レストラン、喫茶、コンビニの併設
- ・図書・学習室の併設
- ・他団体の活動が見えるように

どんな部屋？

【キャッチコピー】 繋がる!!

<ホール>

- ・ピアノ保管庫が 2 台ある・奥行きが深い
- ・大ホール 1000 人、800 人
- ・中ホール 400 ~ 500 人、小ホール 300 人
- ・多機能ホール、固定席、クラシック対応の残響
- ・美しい自然が見えるホール
- ・パレエ向きの柔らかな舞台

<リハーサル室・楽屋>

- ・遮音のしっかりしたホール付近のリハーサル室
- ・舞台と同サイズのリハーサル室
- ・個室楽屋 5、大部屋楽屋 2
- ・楽屋内にトイレ、いくつかにはシャワールームを併設
- ・リノリウム常設のリハーサル室

<諸室>

- ・大・小ギャラリー・茶室・和室
- ・芸術関係が充実した図書室
- ・勉強・談話可のフリースペース
- ・子どもの遊べるスペース
- ・飲食・作業スペース

<屋外>

- ・500 台の駐車場・広場
- ・立体駐車場から直接建物へ
- ・四季折々の草花のある庭
- ・屋外ステージになる公園
- ・広場から舞台に繋がっている

どんな仕様？
何が必要？



【キャッチコピー】 コウノトリ芸術文化センター

<ホール>

- ・大・中・小の舞台付きホール
- ・大ホール 1000 席位
- ・中ホール 600 席位
- ・小ホール 300 席位
- ・フルオーケストラの出来るステージの大きさ
- ・最新の舞台設備

<練習室・リハーサル室・控え室>

- ・ピアノ・鏡のあるリハーサル室
- ・個室楽屋 3、20 名位の楽屋を 3
- ・ピアノ・ドラムのある練習室
- ・レクチャー・文化活動室・和室
- ・多目的ホール

<共有施設・展示室>

- ・喫茶・レストラン
- ・学生憩い・勉強のスペース
- ・一般・学生の利用できる交流ホール
- ・アートファクトリー
- ・アトリエ・ギャラリー
- ・市民規模の展示スペース

<その他>

- ・駐車場から極力雨に濡れずに会館に入れるように
- ・500 台以上停められる駐車場
- ・コンビニなど、食料のある場所の近接
- ・ホール、練習室共に市民割制度の導入

部屋数はいくつ？



コウノトリチーム



カニチーム



オオサンショウウオチーム

新文化会館の諸室（機能・仕様）や規模を考える！

本日の作業イメージ

各場所で行われる活動を
思い浮かべながら考えて
みてください

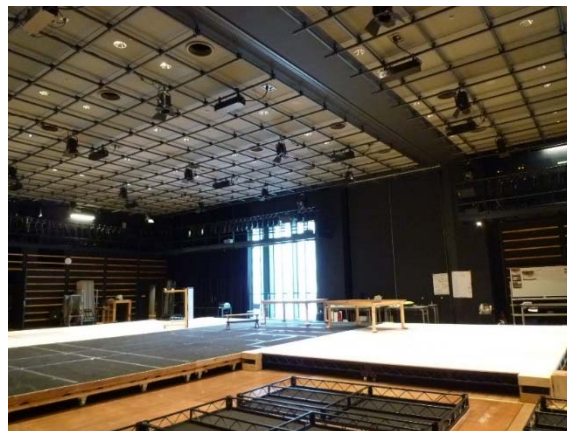
例	ア:ホール部分		イ:創造活動部門			ウ:交流部門			エ:管理運営部門		その他
	大ホール	多目的ホール リハーサル室等	練習室 スタジオ	展示室 ギャラリー	会議室等	市民交流 スペース	親子 スペース	図書・情報 スペース	市民交流 スペース等	事務室等	防災拠点機能 駐車場等
① 必要な諸室・ 機能を整理			① まずは、個人で各部門ごとに必要な諸室（部屋を）整理する								
			② メンバーと共有したら、グループのとしての意見をまとめる								
②・1 規模・部屋数			③ 整理した諸室の規模（部屋数、席数、㎡数）を個人で考える								
			④ メンバーと共有したら、グループのとしての意見をまとめる								
②・2 必要な仕様・ 設備			③ 諸室に必要な仕様や設備について、個人で考える								
			④ メンバーと共有したら、グループのとしての意見をまとめる								

参考

必要諸室のイメージ



リハーサル室
(フレサよしみ 210㎡)
機能: 遮音・天井高さ



小・中スタジオ(一体利用可能)
(神奈川芸術劇場 110㎡)
機能: 天井グリッド、可動間仕切り



大練習室
(北上市文化交流センター 73㎡)
機能: 遮音



大会議室
(フレサよしみ110㎡)
機能: 簡易な遮音



大楽屋兼練習室
(都城市総合文化ホール194.4㎡)
機能: 遮音、鏡前



小練習室
(北上市文化交流センター 25㎡)
機能: 遮音

参考

必要諸室のイメージ



ステップホワイエ
(北上市文化交流センター)



共用スペースで練習
(北上市文化交流センター)



ロビーを展示利用
(和光大学ポプリホール鶴川)



ロビーで練習
(北上市文化交流センター)



情報コーナー
(北上市文化交流センター)



学習ゾーン
(黒部市国際文化センター)

参考

必要諸室のイメージ 重ね使いの事例

南相馬市民文化会館
ゆめはっと



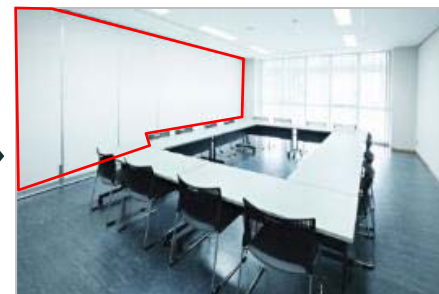
練習室 ⇔ 会議室



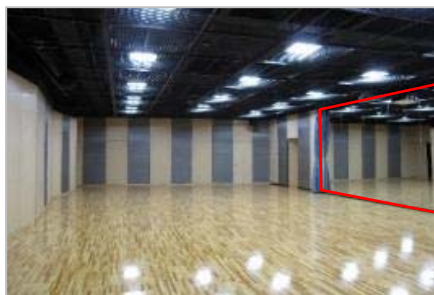
三鷹市公会堂



展示室 ⇔ 会議室



下呂交流館 アクティブ



スタジオ ⇔ 会議室



北上市文化交流センター
さくらホール



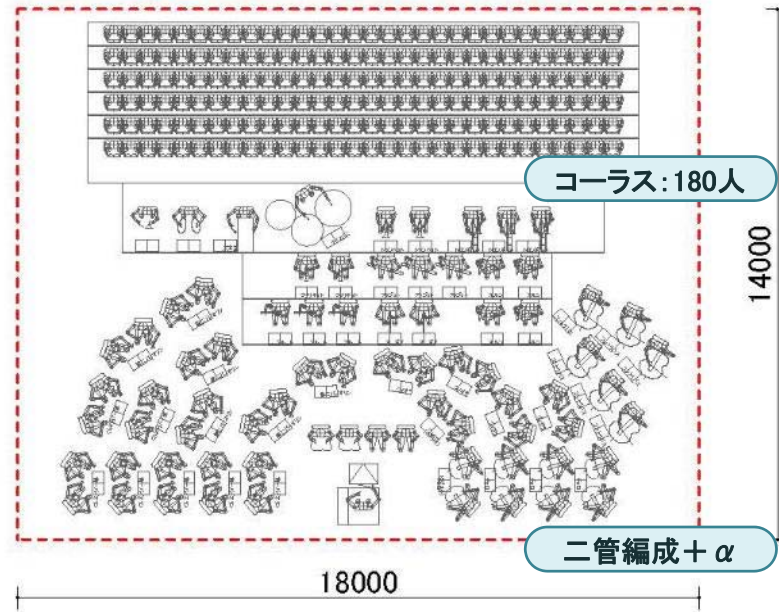
アトリエ ⇔ 展示室



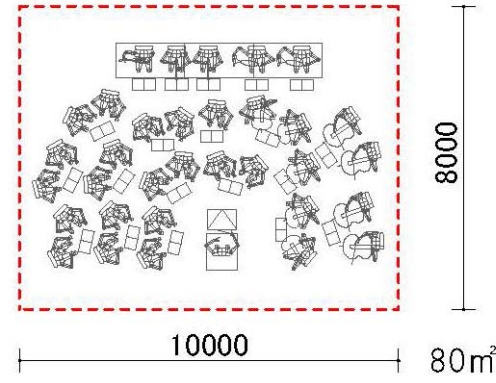
参考

諸室のレイアウトイメージ

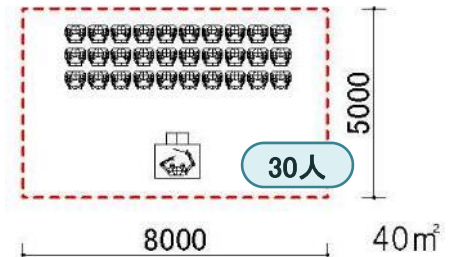
リハーサル室・練習室



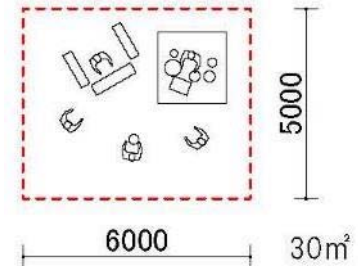
オーケストラ (第九)



オーケストラ (小編成)

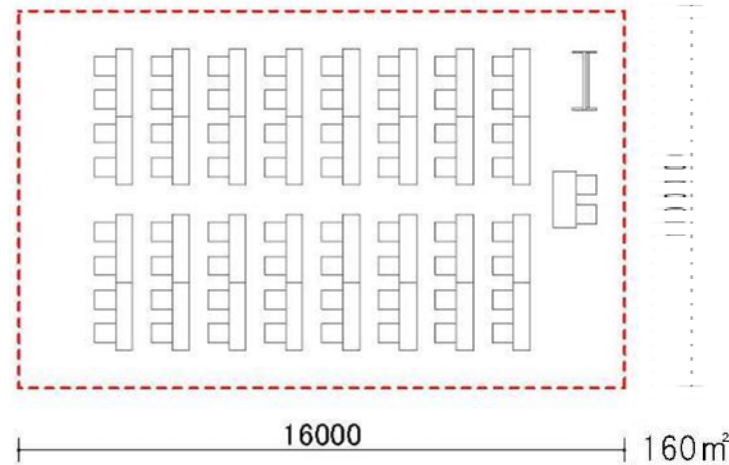


コーラス
(ボーカル、指揮者)

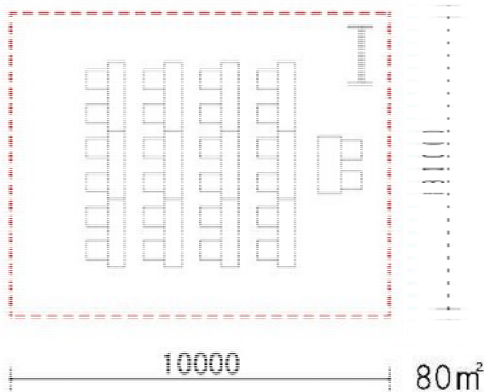


JAZZ・ROCK
(ギター・ベース・ドラム・キーボード)

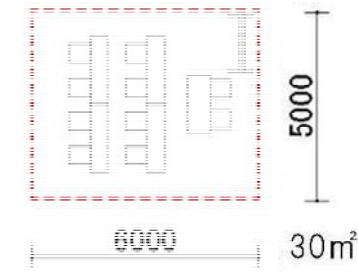
会議室



スクール形式 64席
机32台



スクール形式 24席
机12台



スクール形式 8席
机4台

参考

市民会館文化ホール 催事あたり動員数

平成29年度 実績	件数(=日数)					人数(1回あたりの平均)			
	本番	練習	準備撤去	その他	計	本番	練習	準備撤去	その他
行政・市民会館	38	0	11	31	80	282	0	95	4
公社・NPO・協会	3	0	3	0	6	1,167	0	27	0
学校	7	14	6	1	28	782	50	60	18
文化団体・教室	8	0	5	1	14	649	0	70	120
企業・団体(会議集会)	12	0	7	0	19	731	0	20	0
計	68	14	32	33	147	495	0	62	0

〈平成29年度 動員数トップ20〉

	イベント種別	イベント名	利用団体	利用人数
1	音楽会・コンサート	第64回兵庫県吹奏楽コンクール地区予選	但馬吹奏楽連盟	1,603人
2	音楽会・コンサート	但馬吹奏楽祭	但馬吹奏楽連盟	1,150人
3	演芸	春休み！吉本お笑いライブin豊岡2018	よしもとクリエイティブエージェンシー	1,100人
4	音楽会・コンサート	陸上自衛隊音楽フェスタ(2日目)	豊岡市民会館	1,030人
5	音楽会・コンサート	豊岡プラスフェスタ2017	豊岡市民会館	1,000人
6	大会・式典・総会	北近畿山陰近畿自動車道早期実現促進大会	北近畿・山陰近畿自動車道大会委員会	1,000人
7	音楽会・コンサート	清塚信也ピアノリサイタル	豊岡市民会館	959人
8	音楽会・コンサート	陸上自衛隊音楽フェスタ(1日目)	豊岡市民会館	930人
9	音楽会・コンサート	森麻季ソプラノリサイタル	国際ソロプチミスト但馬	930人
10	講演会	第50回文教府夏期大学	但馬文教府	930人
11	日舞・洋舞	豊岡みどり会 研究生発表会	豊岡みどり会	900人
12	大会・式典・総会	兵庫県教頭協議会研修大会	兵庫県教頭協議会	800人
13	音楽会・コンサート	但馬中学校連合音楽会	但馬中学校長会・中学校教育研究会音楽部会	800人
14	講演会	創立30周年記念講演会	豊岡商工会議所青年部	800人
15	その他	南陵祭	豊岡南中学校	800人
16	大会・式典・総会	豊岡市成人式	生涯学習課	750人
17	演芸	桑野信義ライブショー	日本生命	727人
18	音楽会・コンサート	大阪音大吹奏楽団演奏会	豊岡市民会館	696人
19	日舞・洋舞	野村萬斎狂言公演	豊岡市民会館	640人
20	演芸	豊岡市児童文化祭	こども教育課	610人

※延人数の数値も含まれます。(複数本番があった場合は全ステージの合計)↑

ワークショップの取り組み方

順序	進め方	予定時間
1.メモを貼る	本日のお題について、まずは、個人で思いついたことをメモに書き、模造紙の該当する欄に貼りましょう。	XX分
2.グループで考える	<p>1) 集める だいたい貼り終わったら、メモを動かして同じ意見・似た意見を集めたり、相反する意見をわかりやすく配置するなどして、全体の傾向をみてみましょう。</p> <p>2) 話し合う お互いの意見を聞きあって、メモに書いてあることの意味を理解しあいましょう。 どんな意見が出たかをみんなで把握することが重要です。これまでの意見のやりとりで不明なところがあれば確認しましょう。 そこから新たな議論が生まれる場合もあります。</p>	XX分
3.発表する	グループの代表者に話し合った結果を全員の前で発表していただきます。	全体で XX分

ワークショップのお約束

ワークショップに取り組んでいただくにあたり、
次の4点にご協力をお願いします。

楽しく協力しあいましょう

より多くの方よりたくさんのご意見をいただきたいと思っています。もし、自分の思いとは違った意見が出て否定したり、無理に意見を統一したりせず、各々の意見を尊重しましょう。

思いついたら、まず書きましょう

「こんなこと書いたら恥ずかしいかしら・・・」など考えず、話したいことなんでも書いてください。尚、「1つのふせんに1つの意見」というように、複数意見がある場合は、1枚に納めず、どんどんふせんを使ってください。

個人としての意見を書きましょう

ご所属やお立場にとらわれず、あくまで「ひとりの個人」として自由にご意見を述べましょう。

意見を述べる際は簡潔にしましょう

限られた時間で多くの意見を取り入れるため、ご自分の意見は手短かに述べ、皆様が発言できるように心がけましょう。

今後の予定

今年度は全3回開催されます！

回	日程	場所	テーマ
第1回	5月11日（日） 14時～16時	豊岡市民会館4階 大会議室	施設の機能や規模を考えよう 済
第2回	6月28日（金） 19時～21時	豊岡市民会館4階 大会議室	施設の配置を考えよう
第3回	8月22日（木） 19時～21時	豊岡市民会館4階 大会議室	施設の運営を考えよう

※ テーマは変更になる場合があります